

平成29年度第4回安全パトロール報告 安全技術教育委員会

ブランク作業、6つの最低条件

- 保護帽の着用
- 安全帯の装着・使用
- 清掃用具の落下阻止の措置
- 立入禁止区域の確保
- ライフラインの設置
- 墜落阻止器具の使用

実施日 平成30年3月7日(水):晴

パトロール地域 都内全域

実施スタッフ

東京労働局 今井産業安全専門官

G C A 浅香会長

G C A 佐元専務理事

安全技術教育委員会 大山安全技術教育委員長

広報委員会 中原広報副委員長

*オブザーバー 石井所長 共立管財総技術部

*オブザーバー 川上事務局職員

*以上、公益社団法人 東京ビルメンテナンス協会 敬称、略

パトロール内容

ブランク作業：4件(会員4件)

- | | | |
|---|--|--|
| <p>① 保護帽の着用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 墜落時保護用○…………… 4件 | <p>② 安全帯の装着・使用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 垂直面用○…………… 3件 ・ 1本吊り用○…………… 1件 | <p>③ 清掃用具落下阻止措置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ すべてあり○…………… 4件 |
| <p>④ 立入禁止区域確保状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 区画確保○…………… 4件 | <p>⑤ ライフライン設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あり地上まで達する○… 4件 | <p>⑥ 墜落阻止器具使用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グリップ・スライド切替式○ 2件 ・ グリップ式○…………… 2件 |

*東京労働局今井産業安全専門官、2年間安全パトロールに同行戴き、誠にありがとうございます。
この2年間の写真を集めてみました。



終了後の意見交換会



屋上での指導



ロープ取付事例



調査表閲覧



フルハーネス装着勇姿



熱心指導

ケース1 プランコ作業*特別教育修了(千代田区神保町/経験20年/会員)



立入禁止区域の確保は、カラーコーンとトラロープで確保しており、○。



2本のロープを束ねてメインロープとし、接続器具(下降器)はジェットマン。左側のロープがライフライン。



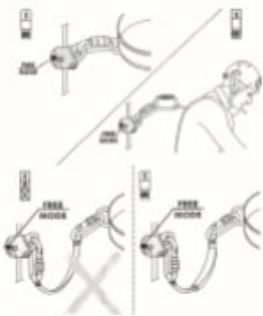
清掃用具はコンビスクイジー(ハッスルズ)で、落下防止措置のカールコードも接続されており、○。



墜落阻止器具は、コング社バックアップ。屋上で取り付けるための落下防止コードも接続されており、○。

保護帽の着用	良好：墜落時保護用を使用
安全帯の装着	良好：垂直面用ハーネス型安全帯を使用
清掃用具の落下防止の措置	良好：それぞれの清掃用具にカールコードでOK
立入禁止区域の確保	良好：カラーコーンとトラロープで区画
ライフラインの設置	良好：地上まで達する
墜落阻止器具の使用	良好：グリップ・スライド切替式墜落阻止器具を使用

GCA安全パトロール指導員からの指導事項



建物オーナー不在のため、屋上確認できず。指導事項は、1点。

- ・墜落阻止器具コング社バックアップの取扱説明書では、
① 左上図のように、本体とカラビナを直掛け。
② 左下図右側のように、本体とカラビナのランヤードはショックアップソーバ入り。

の2通りの使用方法となっているが、このケースは右上写真のとおり、ランヤードはスリング。この使用法は取扱説明書記載の左下図左側の誤った使用法で、×。

よって、作業員はショックアップソーバを持っていないかったため、右下写真のとおり、①使用法を指導した。



これ以上の閲覧をご希望の方は
こちらからご購入ください。